

World Plone Day 2010 Tokyo

エンタープライズ CMS 「Plone」を知るグローバルイベント

日時：4月28日(水) 18:45 - 21:00 受付：18:20 開始：18:45 参加無料
会場：JETRO 5A 会議室(5F) 東京都港区赤坂1丁目12-32 アーク森ビル



18:50 海外クリップ：世界のWPD～台湾とつないで

19:00 スペシャル講演：Plone 4について

CMS コミュニケーションズ 代表 寺田学

オープンソース CMS Plone の次期バージョンである Plone 4 は今年夏頃にリリースが見込まれています。このバージョンでは特別な設定の変更やプラグインの追加をすることなく、日本語の検索ができるようになります。マルチバイト文字への対応ができるよう、日本のコミュニティが Plone 4 開発の初期段階から開発に参加した成果です。さらに、次のような機能強化が図られています。テーマシステムの強化：デビューから8年慣れ親しんだデフォルトテーマが Sunburst に変わります。グリッド方式によるデザイン定義ができます。WYSIWYG エディタの変更：多くの CMS で使われている TinyMCE が採用されました。パフォーマンスの向上：Python2.6 の採用により、システムパフォーマンスの大幅な向上が図られました。また、ストレージシステムの強化(BLOB 対応)により、大容量ファイルコンテンツのパフォーマンスが向上しました。これらについてプレビューします。

19:25 海外クリップ：世界のWPD～ニュージーランドとつないで

19:35 アドオンプラグインの紹介 (Plone 3 対応版)

Plone Users Group Japan 鈴木たかのり

2009年2月7日に buildout 形式が標準となった Plone 3.2 がリリースされてから一年ちょっとが経過しました。(現在の最新は 3.3.5) その間、Plone 3 系に機能を追加するアドオンプラグインはものすごい勢いで増えていっています。(PyPI で plone を検索してみてください) 今日はそのたくさんありすぎるアドオンプラグインの中から、明日からすぐ使えるおすすめプラグインを厳選して紹介します。また、自分でアドオンプラグインを作るためのポイントなども合わせて説明します。

20:00 事例紹介：Plone によるメンズ・ファッション&カルチャー・デジタルマガジンを創刊

www.1twoone2.com - Roger Francis Clarke + Plone Users Group Japan 本多重夫

編集機能とワークフロー機能が充実している Plone はデジタルマガジンのプラットフォームとしても適しています。1twoone2.com のサイトがどのように企画・開発されたのか、そのプロセスと実際の運用についてテクニカルな開発サイドとクリエイティブディレクターの視点を交えてご紹介します。

20:15 事例紹介：E-ディフェンスアーカイブ (ASEBI) の構築

防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 酒井久伸 他

防災科学技術研究所では、世界最大の振動実験施設である E-ディフェンスを使用し実物大構造物の破壊現象の解明など耐震工学分野で様々な実験を実施しています。実験で得られたデータは、一定の条件の下で、世の中に公開され、実験参画者だけでなくより広いコミュニティによる実験の多角的な検証や、新たな耐震評価手法の開発、シミュレーション技術の向上に利用することができます。一方で、公開されるデータ(実験観察のための映像データを含む)は、悪用の懸念があり利用目的を審査したうえでのアクセス可否判断が必要になります。そこで、コンテンツへのアクセス管理の容易な Plone をベースに、Archives of Shakingtable Experimentation dataBase and Information : ASEBI を構築しました。

20:35 事例紹介：天文データアーカイブ ALMA Science Archive (ASA) Portal に Plone を採用

国立天文台 パンタ・ボーラ

ALMA (Atacama Large Millimeter/Submillimeter Array) はチリ・アタカマ砂漠に設置する電波望遠鏡で、北米、ヨーロッパと東アジア(日本、台湾)の国際協力プロジェクトです。2012年度に運用開始予定で、5000mのサイトに7m~12mの合計64台アンテナを設置作業が進んでいる。観測されたデータを3000mの Operation Support Facility のアーカイブに格納し、そのデータをアクセスするインターフェースとして ALMA Science Archive (ASA) Portal が開発中です。ALMA ソフトウェア開発をリードしているヨーロッパ南天天文台は ASA Portal に Plone を使うことに決めました。日本を含めて各地域の ALMA 地域センターでもローカルアーカイブに Plone を使用する方針です。

20:45 書籍紹介・プレゼントコーナーなど

21:00 終了・解散

懇親会会場

「どんのば」赤坂本店
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-7
ラフィネ赤坂 B1 tel. 03-3584-4137
費用：3,600円(予定)

